

現場 富士山レンジャー REPORT

第6回

ゴミの不法投棄をなくそう

秋から冬にかけての巡回ではゴミの不法投棄をよく発見します。この時期に不法投棄が多くなるのではなく、生い茂っていた草木が枯れて林内の見通しがよくなり見つけやすくなるからです。

今回は富士山レンジャーの巡回業務の経験から、どのような場所にゴミが捨てられやすいのか、もし皆さんがゴミの不法投棄を発見した時どうしたらよいのか紹介したいと思います。

① ゴミが不法投棄されやすい場所とは

富士山レンジャーの巡回業務のなかでゴミが捨てられているのを発見する場所をまとめてみると、主に次の3つの場所があります。第一に道路の路側帯です。特に路側帯に駐車スペースがあるような場所です。第二に国道などの幹線道路から富士山麓に入る道路の枝道や沢沿いなどです。第三に交通量の少ない林道や側道などの道路です。

これらのゴミが捨てられやすい場所に共通している事として、第一に人目に付きにくい場所であるということが言えます。例えば、道路の路側帯の茂みの中や橋の下など先が見えにくい場所です。第二に車での通行が可能な場所であるということが言えます。多くの

不法投棄物は投棄場所まで車で運ばれて捨てられているようです。

また、ゴミが捨てられている場所には次々とゴミが捨てられるという事があります。これは人間の心理としてゴミが捨てられていると「他の人も捨てているから少しならいいだろう」という気持ちになるからです。いわゆる「ゴミがゴミを呼ぶ」という現象です。



捨てられたタイヤと一般ゴミ

② もしゴミを見つけたら

もし、ゴミが不法投棄されているのに気がついたときは、どこにどんなゴミが捨てられているのかを確認して地元の市町村に連絡して下さい。例えば「〇〇林道の入口から100mほど入った沢の中に、タイヤが捨てられていました」など、より具体的な情報があると対応を迅速に行うことができます。

不法投棄の行為を目撃した時など緊急性のある場合は、警察署に通報するようにしてください。トラブルとなる可能性があるのを声を掛けたり、注意したりしないようにしてください。また、不法投棄物の中にはバッテリーや医療廃棄物など危険な物がありますので、現状を変更せずにそのままにしておいて下さい。

ゴミの不法投棄を無くすためには私たち一人一人が多くの監視の目で、ゴミが捨てられにくい環境を作っていく必要があります。皆さんも、ぜひゴミの不法投棄を無くすために協力をお願いします。

こんなものをみつけたよ 富士山の初冠雪

富士山の最もわかりやすい変化は、秋から冬にかけて雪化粧をする様でしょう。今年は10月8日に初冠雪が記録されました。この「初冠雪」には定義があり、「夏が終わったあと、甲府地方気象台や測候所からみて山頂付近が始めて積雪などで白く見えること」とされています。同気象台では100年以上前から富士山の初冠雪を記録しています。(ちなみに、麓で確認できた場合、いち早く「初雪化粧」として発表するため、今年から、富士吉田市では、初冠雪を独自に観測しています。)



写真「幻」の初冠雪 H18年8月12日

	平均日	標準偏差
1950年代	10/4	11
1960年代	10/8	10
1970年代	10/2	11
1980年代	10/3	10
1990年代	9/29	19
2000年代	10/1	15

表 10年ごとの初冠雪平均日と標準偏差

このデータを調べるとどんなことがわかるでしょうか？最も早い初冠雪の記録は8月12日(1914年)で今から90年以上前の出来事です。ちなみに今年も8月12日に富士山にひょうが降り、八合目以上が白くなったものの気象台から観測できず「幻の初冠雪タイ記録」(写真)となりました。反対に最も遅いのは10月26日(1956年)です。初冠雪が極端に遅くなるということはないようです。過去100年間の初冠雪の平均日を取ると10月1日となります。「温暖化により年々雪が遅くなっている」との意見も聞かれますが、データで見る限りそうとはいえないようです。少なくともここ50年間では、初冠雪が遅くなる傾向は確認できません。(表参照)といえることは、初冠雪日にはかなりの「ばらつき」があり標準偏差は各年代で10日以上あります。平均日はあまりあてにならないようです。中長期的な視点で見るとこの「ばらつき」にも傾向らしきものがあり、平均より早い日と遅い日がおおよそ5年周期ぐらいに入れ替わる気配があります。ちなみに最近4年間は連続で平均より遅い日が続いています。さて、来年はどうなるでしょう？